

絢爛

けんらん

巻頭「オトリレポート」伊方の祭り 〔豊〕

▼大型連休に華々しく開催された伊方地区の祭り。五穀豊穡と無病息災を願った地域あげての催しをカメラが追いました。

掛け声とともに太い挿き棒がきしめば、黄金色の山笠が誇らしげに動きます。5月3日に前後祭、4日から赤坂神社と白鬚神社の神幸祭が2日間行われ、9基の山笠が出そろいました。江戸時代からの歴史を持つ両社の神幸祭。神輿を守り、祭りに花を添える山笠は、時を経てより大きく、煌びやかに変化を遂げました。ボンカンや馬麩はもちろんのこと、今では竜や鯉といった装飾まで手作りの山笠がほとんど。それぞれの個性が際立つよう手掛けられた絢爛な山笠が、颯爽と練り歩きました。

赤坂神社 神幸祭

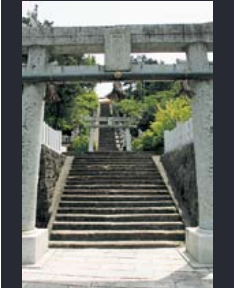
akasakijinja_jinpusai

白鬚神社 神幸祭

shiragijima_jinpusai

6 地域を問わず、山笠を愛好する有志によって結成された方城青年団 誠遊會の山笠
7 中古門子ども会による獅子舞。5月3日の山笠競演会で競演に先立ち、披露されました。山笠が見守る会場中央で雄雄の獅子が躍動し、楽曲に合わせて稚児が軽快な足取りでリズムをとります。掛け声に合わせて舞い終えた姿に、盛大な拍手が送られました。

長い長い石段と、その両脇に整然と並ぶ石塔が特徴の白鬚神社は、天平9年(737)の創立と伝えられています。白鬚(しらが)神社と呼ばれ信仰を集め、地域に親しまれています。神社から神輿が出る「お下り」の際にも獅子舞が奉納されています。
8 白鬚神社神輿 9 童心会(野添) 10 西流會(西古門) 11 栄友会(中古門) 12 東和会(東古門)



仁和3年(887)からの歴史を持つ赤坂八幡社。かつて宇佐神宮(宇佐八幡)による隼人との戦に、この地から弓矢の名手たちが参戦して功を挙げたことから「弓矢八幡」とも呼ばれました。この射手(射方)が「伊方」の語源と伝えられています。神幸祭は元和3年(1617)からの伝統を誇ります。
1 赤坂神社神輿 2 新門下 3 新友會(新門) 4 後谷山笠同好会 5 少年団

